

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	乳幼児ふれあい体験及び当事者との意見交換				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和6年度
総事業費(A)(円)	3,072,800		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,072,800
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,072,800						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	72,800	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	72,800	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	3,000,000	0	0	0	0	3,072,800
	対象経費支出予定額	3,000,000	0	0	0	0	3,072,800
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力で進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、子育てに対するポジティブなイメージの浸透に向けた施策であり、若年世代に対して、乳幼児とふれあう機会を提供するとともに、子育て当事者との意見交換の場を提供する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	若い世代への乳幼児とのふれあい体験の提供	高校生や大学生を対象に乳幼児とふれあう機会を提供し、若い世代に子育てに対するポジティブなイメージの浸透を図る。(学校へ親子を派遣) 参加者計400人(20回×20人)				
	2	若い世代と子育て当事者の意見交換の場を提供	高校生や大学生を対象に子育て当事者から実際に意見を聞くなどの意見交換の場を提供し、若い世代に子育てに対するポジティブなイメージの浸透を図る。(座談会等の開催) 計5回開催				
	3						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 乳幼児だけでなく、当事者との意見交換の場を希望する声を受け追加</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	ふれあい体験開催数	回	20 (R7)	10 (R6)
	②	当事者との意見交換開催数	回	5 (R7)	—
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7)	80 (R6見込み)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R7)	80 (R6見込み)
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	ライフデザイン啓発事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)		継続			
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	平成30年度		
総事業費(A)(円)	5,000,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	5,000,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	5,000,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000
	対象経費支出予定額	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力的に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、子育てに対するポジティブなイメージの浸透に向けた施策であり、若年世代に対して、ライフデザインに関する知識と考える機会を提供する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	広報	・Webバナー広告 若者が良く利用するSNSでWebサイト(ライフデザインマップ)に関する広告を展開し、「ライフデザイン」の認知を高めるとともに、就職・転職サイト等、将来について考えていそうな人へのアプローチを行い、将来について具体的に考えるツールとして活用を促す。				
	2	若者へのアンケート調査	事業評価のため、アンケート調査・集計を実施する。 実施方法: Webアンケート 対象者: 20歳代の男女 サンプル数: 20～24歳の男性100、20～24歳の女性100				
	3						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	Webサイトアクセス数	件	12000 (R7)	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R7)	—
	④	ライフデザインマップの作成が自身のライフプランを考える機会となったと回答した者の割合	%	90 (R7)	—
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進						
個別事業名	「共育て」の定着に向けたプロモーション				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和6年度
総事業費(A)(円)	15,000,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	15,000,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	15,000,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	15,000,000	0	0	0	0	15,000,000
	対象経費支出予定額	15,000,000	0	0	0	0	15,000,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力を進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、「働きながら子育てしやすい県」に向けた施策であり、「共育て」の定着に向け、男性の家事・育児への参画促進に取り組むため、プロモーションを実施するもの。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	プロモーション	男性が、家事・育児を実施する行動変容につながる施策を検討・実施する。 ～施策イメージ～ ・男性の育児取得日数に応じた企業へのインセンティブ付与 ・家事育児アプリとタイアップした参加型キャンペーン ・男性のワンオペ体験 など ※詳細は公募型プロポーザルにより選定する、事業者と調整し決定				
	2						
	3						
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	イベント参加者数	人	3000 (R7)	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	家事・育児を頑張っている男性の割合(パートナーによる評価)	%	70.0 (R11)	43.1 (R5)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県

本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
個別事業名	不妊治療に係る理解促進				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成28年度
総事業費(A)(円)	4,071,580		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	4,071,580
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	4,071,580						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	26,000	250,000	230,580
	対象経費支出予定額	0	0	0	26,000	250,000	230,580
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	3,565,000	0	0	0	0	4,071,580
	対象経費支出予定額	3,565,000	0	0	0	0	4,071,580
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力的に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」に向けた施策であり、不妊治療助成制度の周知を行うとともに、利用促進促進ものである。 また、若年世代からの妊娠・出産等に関する正しい知識の普及啓発を図るものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	プロモーション	妊娠・出産に伴うリスクが低くかつ出産に至る確率が高いとされる若年世代の夫婦が早期に夫婦そろって不妊検査をすることを促すため、「妻のみ不妊検査・治療を行っている夫婦」や「子供が欲しいが不妊検査を行っていない夫婦」に対し、特設サイトやWEB広告等を活用し、受信促進を図るもの。				
	2						
	3						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 今年度実施している広報の結果を踏まえ、Web解析を行い、より効果的なWeb媒体や配信タイミングを検討する。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	Web広告からのサイト流入数	件	40000 (R7)	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	サイト流入者のうち、サイトでの診断実施数	件	1000 (R7)	—
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成						
個別事業名	ひろしま子育て応援事業				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成18年度
総事業費(A)(円)	47,015,578		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	47,015,578
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	41,578,137						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	1,936,000	8,198,508	0	1,740,148	1,898,350	26,700
	対象経費支出予定額	1,936,000	4,604,399	0	1,580,848	228,655	12,363
	対象外経費支出予定額	0	3,594,109	0	159,300	1,669,695	14,337
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	28,689,496	59,220	0	0	4,467,156	47,015,578
	対象経費支出予定額	28,689,496	59,220	0	0	4,467,156	41,578,137
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	5,437,441
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力で進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」に向けた施策であり、「子供の未来みんなで応援プラン」の推進に取り組むとともに、子育て家庭が子供を連れて外出しやすい環境の整備に取り組むものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	子育てポータルサイトの管理運営	広島県子育てポータルサイトである「イクちゃんネット」等を通じ、子育て当事者を中心に、イベント情報や支援情報、子育てパスポート登録店の情報などを発信				
	2	子育て支援パスポート(イクちゃんサービス)周知・利用促進等	・イクちゃんサービス開拓へ向けた企業訪問等の企業開拓を行うとともに、子育てイベントへの出展や地域情報誌等を活用して事業の広報を図り、SNS、webサイトを活用して参加店舗情報やサービス概要について周知する。				
	3	思いやり駐車場	妊娠・子連れなどによって車の乗降や歩行の困難な方が、安心して利用できるように設けられた専用の駐車スペース(思いやり駐車場)を設置し、地域全体で子育て等に温かい社会づくりを目指す。 ・協力施設の募集、登録 公共施設やショッピングセンターに対して、思いやり駐車場を募集し、登録する。 ・利用者証の発行 利用者証を作成し、制度対象者へ交付する。 利用者証配布数: 15,000枚 利用者数103,182人(R6.9時点) (妊産婦: 11,866人、その他: 91,316人)				

4	子供の未来みんなで 応援プランの推進	プランにおいて、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組むこととしており、その推進に向けた審議会の開催等を行う。				
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 利用者から「イクちゃんネット」に加え専用アプリの新設の希望があったが、スタッフの調整により、民間事業者とのアプリ連携の実現に向けて調整中</p>						
少子化対策全体の重要 業績評価指標(KPI)及び 定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R5)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)		
	合計特殊出生率			1.33 (R5)		
	婚姻件数		件	10,083 (R5)		
	婚姻率			3.8 (R5)		
個別事業の重要業績評 価指標(KPI)及び定量的 成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
	番号	項目				
	(アウトプット)					
	①	イクちゃんサービス登録店舗数		店舗	7,100 (R7)	—
	②	イクちゃんサービスを利用したことがある人の割合		%	70 (R7)	—
	③	思いやり駐車場利用証の年間発行数(妊産婦)		枚	8,358 (R7)	7630 (R6)
	④					
	⑤					
	(アウトカム)					
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)		%	95 (R7)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%		
	④	思いやり駐車場の県内妊産婦の普及率		%	47 (R7)	44 (R5)
	⑤					
⑥						
⑦						
⑧						

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	3.2.1 自治体間連携を伴う結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成						
個別事業名	ひろしまネウボラ構築事業				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成29年度
総事業費(A)(円)	145,945,644		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	145,945,644
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	135,000,550						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	121,000	120,000	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	121,000	120,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	11,050,000	0	0	0	134,654,644	145,945,644
	対象経費支出予定額	11,050,000	0	0	0	123,709,550	135,000,550
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	10,945,094	10,945,094	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力的に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、子育てに関する不安や負担を軽減し、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」に向け、市町のネウボラ拠点と地域の関係機関が連携することにより、妊婦や子育て家庭の不安や悩みに寄り添い、見守り、支援する「ひろしまネウボラ」の仕組みを構築する。 ひろしまネウボラのあるべき機能や体制について整理した「基本型」を実施する市町に対して、効果検証データの提供や人材育成研修の実施、市町独自の取組に係る財政支援(補助金)等の支援を行い、市町とともに「子育てしやすい広島県」の実現を図る。</p>						
番号	項目	内容					
1	市町担当者制に基づく実施市町の伴走支援及び未実施市町への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・子供未来応援課ネウボラ推進グループで県内23市町を分担して担当することで、市町の事業担当者と顔の見える関係づくりを行い、市町ごとの課題の把握及び解決に向けた支援を行う。また県として目指す方向性や広域的に実施すべき取組に関する意見の収集等を行い、更なる機能強化につなげる。 ・ひろしまネウボラの全県展開を目指し、未実施市町に対しても担当者が継続してコンタクトを取ることで、ひろしまネウボラの実施に向けたボトルネックの把握及び解消を行う。 ・取組内容や評価検証結果については、担当者が各市町を直接訪問し個別に説明、意見交換をするほか、連絡会議を年1回程度開催する。 ○「ひろしまネウボラ」実施市町数(県内市町数:23市町) R5年度:17市町 R6年度:18市町					

個別事業の内容	2	評価検証の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしまネウボラの効果検証の指標とするため、「CS(利用者満足)調査」及び「ネウボラ県民意識調査」を実施する。収集データは県の事業評価及び今後の取組検討に活用するほか、全県データとも比較可能な形で市町にフィードバックすることで市町のPDCAサイクルの実施に役立てる。 ○CS(利用者満足)アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・主に初期アウトカム(個別の窓口利用における満足感)を測る調査。 ・各市町の母子保健、子育て支援窓口に設置したQRコードを利用者自身のスマートフォンで読み込みアンケートフォームに入力してもらうことで、相談対応の満足度、施設の満足度、再利用意向等のデータを収集する。 ・収集したデータは月次で各市町にフィードバックして取組の改善に役立てるほか、県で指標間の相関等を分析を行い事業評価に活用する。 ○ネウボラ県民意識調査 <ul style="list-style-type: none"> ・主に中期～長期アウトカム(不安や悩みが生じた際の相談相手、ひろしまネウボラのビジョンへの共感度等)を測る調査。 ・年1回アンケートモニター調査(1,000サンプル程度)を実施する。 ・調査結果は主に県の事業評価及び今後の取組検討に活用する。
	3	ひろしまネウボラ人材育成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ネウボラ業務の質の向上を図るため、母子保健や子育て支援業務に従事しているネウボラ相談員向けの研修等を実施する。 ○オンライン研修(オンデマンド配信型) <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容:県が作成した「ひろしま版ネウボラ人材育成ガイドライン」に基づきネウボラ相談員として必要な知識・スキルを約3年間で習得するための体系的なカリキュラム(18講義を予定) ・対象者:市町の母子保健や子育て支援業務に従事しているネウボラ相談員(約250人を予定) ○対面研修(集合型) <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容:オンライン研修を踏まえた発展的・実践的な内容や母子保健・子育て支援に関する最新情報(グループワークや参加者同士の情報交換をあわせて実施) ・対象者:市町の母子保健や子育て支援業務に従事しているネウボラ相談員(年2回、各回30人程度を予定)
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p>			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	ひろしまネウボラの実施市町数	市町	21 (R7年度)	18 (R6年度)
	②	ひろしまネウボラ人材育成研修(オンライン研修)受講登録者数	人	250 (R7年度)	240 (R5年度)
	③	ひろしまネウボラ人材育成研修(対面研修)受講者数	人	60 (R7年度)	59 (R5年度)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	74.0 (R7年度) 82.0 (R11年度)	72.5 (R5年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	育てにくさを感じたときに相談先を知っているなど何らかの解決方法を知っている者の割合(3つの健診時の平均:全市町)	%	72.0 (R7年度) 80.0 (R11年度)	71.0 (R5年度)
	⑤	研修受講者のうち「研修の内容が自身の業務に活用できているか」に対して「そう思う」と回答した者の割合(5択中のTop1)	%	55 (R7年度)	49 (R5年度)
⑥	研修受講者のうち「自身の業務にやりがいを感じられるか」に対して「そう思う」と回答した者の割合(5択中のTop1)	%	51 (R7年度)	45 (R5年度)	
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターに関する取組						
個別事業名	出会い・結婚支援センターの開設・運営、マッチングシステムの構築				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成29年度
総事業費(A)(円)	10,094,628		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	10,094,628
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	10,094,628						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	0	10,094,628	10,094,628
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	10,094,628	10,094,628
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力的に協力に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、プランで注力する結婚の実現に向けた施策であり、結婚の希望を叶えるために、結婚支援事業の基盤となる結婚支援センターの運営を支援するものである。 なお、本事業については、県100%出資法人である公益財団法人ひろしまこども夢財団への補助により実施する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	結婚支援センター運営の支援	会員の結婚の希望を叶えられるようにするため、結婚支援センターによる以下の取組を支援する。 ・会員数の増加及びセンター認知度向上のための周知広報(Web広告) ・会員数の増加及びセンター認知度向上のための民間事業者・企業への営業活動(資料をメール・郵送により送付) ・センターWebサイトへのイベント掲載による会員に向けた情報発信				
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	イベント参加者数	人	40 (R7)	—
	②	マッチング組数	人	5 (R7)	—
	③	ボランティア等研修の参加人数	人	150 (R7)	—
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1.1.2 結婚支援ボランティア等に関する取組					
個別事業名		出会い・結婚支援こいのわ事業(ボランティア育成)				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	平成28年度	
総事業費(A)(円)		6,035,569	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	6,035,569	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		6,035,569					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	6,035,569	0	0	0	0	6,035,569
	対象経費支出予定額	6,035,569	0	0	0	0	6,035,569
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○		※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力を進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、プランで注力する結婚の実現に向けた施策であり、結婚の希望を叶えるために、出会いの場を提供するとともに、地域における支援者の育成に取り組むものである。</p>					
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	ボランティア等研修の開催	○イベントでのおせっかいのみならず、効果的なイベント企画が可能となるような研修メニューを充実させる。 ○地域で活動する結婚支援団体(ひろしま出会いサポーターズ)も受講可能とし、ボランティア団体と個人ボランティアの連携を強める。 ○研修終了後にボランティアが自走できる仕組みを検討するため、日ごろの活動から得られた気づきや喜び、課題及びボランティアとしてできることなどを意見交換する。				
	2						
	3						
		<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	イベント参加者数	人	40 (R7)	—
	②	マッチング組数	人	5 (R7)	—
	③	ボランティア等研修の参加人数	人	150 (R7)	—
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.3 出会いの機会・場の提供に関する取組						
個別事業名	出会い・結婚支援こいのわ事業(イベント実施)				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和5年度		
総事業費(A)(円)	1,211,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	1,211,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,211,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	78,000	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	78,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	0	1,133,000	1,211,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	1,133,000	1,211,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力的に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、プランで注力する結婚の実現に向けた施策であり、結婚の希望を叶えるため、イベントを企画・開催することにより、出会いの場を提供するものである。 なお、本事業については、県100%出資法人である公益財団法人ひろしまこども夢財団への補助により実施する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	イベント企画実施	婚活イベントを企画・開催する(1回)。なお、参加者は「こいのわ出会いサポートセンター」の会員から募集し、イベントとあわせてスキルアップセミナーの開催及びボランティアによる相談支援を行うことにより、マッチング組数の増加を図る。 なお、参加者の募集にあたっては、若い世代に情報が届くようSNSを活用した情報発信を行う。 予定参加者数:40人				
	2						
	3						
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	イベント参加者数	人	40 (R7)	—
	②	マッチング組数	人	5 (R7)	—
	③	ボランティア等研修の参加人数	人	150 (R7)	—
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	3.2.5 ICT活用、官民連携等による結婚支援等の更なる推進のための調査研究						
個別事業名	子育てに係るポジティブイメージの浸透に向けた真因分析					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)	15,000,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	15,000,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	15,000,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	15,000,000	0	0	0	0	15,000,000
	対象経費支出予定額	15,000,000	0	0	0	0	15,000,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力的に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、子育てに対するポジティブなイメージの浸透に向けた施策であり、若年世代を中心に子育てに対するネガティブなイメージを抱くこととなった背景、影響を与えている者等の分析を行い、具体的な打ち手を検討する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	ポジティブイメージ浸透に向けた真因分析	子育てに係るポジティブイメージへの転換や制度の更なる周知の対応検討へ向けて、なぜネガティブなイメージが先行しているのか、支援制度が知られていないかについて、若年世代をメインターゲットとし、上半期にかけて次の要素について、調査・分析を行う。 ・ネガティブイメージをいただくこととなった背景 ・誰が影響を与えているか(誰を動かせばよいか) ・年齢や性別等に基づくイメージの相違のクラスター分析 ・子育て支援制度の情報入手経路等の整理 ・子育てにポジティブない目地を持っている若者に係る指標整理、算出				
	2						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	※調査分析の中であわせて設定	—	—	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	※調査分析の中であわせて設定	—	—	—
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成					
個別事業名		子育てに係るポジティブイメージの浸透に向けたPR				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 令和7年度
総事業費(A)(円)		10,000,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 10,000,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		10,000,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000
	対象経費支出予定額	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○		※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力的に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、子育てに対するポジティブなイメージの浸透に向けた施策であり、若年世代を中心に子育てに対するネガティブなイメージを抱くこととなった背景、影響を与えている者等の分析結果に基づき、ポジティブ情報への接触機会の増加、周知を行うとともに、支援情報の効果的な周知を行う。</p>					
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	ポジティブイメージ浸透に向けたPR	子育てに係るポジティブイメージ浸透に向けた積極的なPRを実施する。情報発信にあたっては、こどもまんなか月間と連携した情報発信や各種子育て支援制度・サービスについて、情報が必要な子育て当事者等に対し届くよう真因分析を踏まえ効果的な広報を実施する。 ・ポジティブ情報への接触・暴露量の増加 ・真因分析を踏まえた支援情報の効果的な周知 ・各種経済的支援制度について自身が受けることができる制度のシミュレーション構築				
	2						
		<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
婚姻率			3.8 (R5)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	※調査分析の中であわせて設定	—	—	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	※調査分析の中であわせて設定	—	—	—
⑤	行政が行う妊娠・出産・子育て支援に係る経済的支援制度の認知率	%	80.0 (R11)	72.7 (R5)	
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局子供未来応援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	3.2.5 ICT活用、官民連携等による結婚支援等の更なる推進のための調査研究						
個別事業名	若者の結婚意識調査	新規/継続 (一般財源での実施も含む)				新規	
実施期間	令和7年4月1日	~	令和8年3月31日	事業開始年度	令和7年度		
総事業費(A)(円)	3,000,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,000,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,000,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000
	対象経費支出予定額	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7~R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力で進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 少子化の要因のひとつである未婚化の背景は、雇用形態を含めた経済的な不安、仕事と子育ての両立への不安など様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられることから、これらの課題を解決するための、より効果的な施策を検討するため、本事業において、結婚の希望を実現できていない真の要因調査を実施する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	若者の結婚意識調査	従来の調査は、選択肢を設けて回答者に選ばせる択一式のアンケートが中心となっているものが多いが、本事業においては、WEBアンケートとインタビュー形式の2段階で調査を行い、未婚化の真の要因分析を行ったうえで、効果的な施策の検討につなげる。				
	2						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	※調査分析の中であわせて設定	—	—	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	※調査分析の中であわせて設定	—	—	—
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局障害者支援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
個別事業名	医療的ケア児実態把握調査				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)	1,749,600		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	1,749,600
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,749,600						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	249,600	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	249,600	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	1,500,000	0	0	0	0	1,749,600
	対象経費支出予定額	1,500,000	0	0	0	0	1,749,600
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力を進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 医療的ケア児を取り巻く状況の変化に即した支援施策を検討する必要があるため、本事業において、医療的ケア児に係る実態把握調査を実施し、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」の実現に向け、医療的ケア児とその家族が県内のどこにいても、必要な支援を受けられ、安心して暮らすことができる体制の構築を図る。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	実態把握調査	医療的ケア児及びその家族の生活状況や支援ニーズに関する調査を実施する。 ・一次調査:医療的ケア児(在宅)の人数を把握するため医療機関を対象に調査を実施。 ・二次調査:把握した医療的ケア児の保護者等を対象に、生活状況や支援ニーズに係るアンケート調査を実施。 ・医療的ケア児に係る委員会において調査内容や調査方法を検討				
	2						
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)	31.1 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
			3.8 (R5)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	医療的ケア児(在宅)の人数把握	人	500 (R7年度)	499 (R3年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	重症心身障害児を対象に児童発達支援事業を行う事業所のある市町	市町	20 (令和8年度末)	15 (令和4年度末)
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 広島県
 本事業の担当部局名 健康福祉局障害者支援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名	発達障害実態調査アンケート				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)	3,470,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,470,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,470,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	116,000	208,000	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	116,000	208,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	3,126,000	20,000	0	0	0	3,470,000
	対象経費支出予定額	3,126,000	20,000	0	0	0	3,470,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 こども計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」(R7～R11)において、少子化対策を社会全体の課題として捉え、特に注力する分野として、結婚、妊娠・出産、子育てに関する県民の希望の実現に向けた取組をこれまで以上に協力的に進める。 取組の方向としては、若者が子育てにポジティブなイメージを抱くことができるとともに、「安心して妊娠・出産・子育てできる県」、「働きながら子育てしやすい県」を目指し、社会全体で取組を進めるとともに、社会全体で子供・子育てを応援する気運の醸成に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 発達障害の診療が一部の専門医療機関に集中しており、初診までに長期の待機が生じていることから、発達障害児の早期把握・早期支援に課題がある状況となっている。 「安心して妊娠・出産・子育てできる県」の実現に向け、本事業において、実態把握調査により初診待機発生の要因等を明らかにし、身近な地域で早期から適切な支援が受けられるよう支援体制の構築を図る。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	実態把握調査	・初診待機者本人及び家族に対しての実態把握調査を実施し、長期の初診待機者の発生及び専門医療機関への待機者偏在要因を明らかにし、解消に向けた具体的な検討につなげる。				
	2	初診待機緩和に向けた研修会	・実態調査の結果も踏まえ、発達障害の早期把握・早期支援の重要性を普及させ、発達障害児を育てる家族の不安を解消させるため、初診待機緩和に向けた支援者等向け研修会を実施する。				
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> _____ _____ _____							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		希望の子供数を持っていない人の割合		%	28.0 (R11)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R5)	
	婚姻件数		件	10,083 (R5)	
	婚姻率			3.8 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	研修会参加人数	人	70	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					